



お 地 整 第 1067 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

おいらせ町長 三 村 正太郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企37号で依頼のありましたことについて
別紙のとおり、提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県 おいらせ町

道路特定財源等に関する基本方針が示され、今後は「必要と判断される道路は着実に整備する」とされております。

「必要と判断される」道路とは、こういった道路を指すものか現在のところ明確に定義づけされていませんが、今後幅広いご意見と地方の声に耳を傾けつつ、国民・ユーザーが納得できる道路特定財源の利用と道路整備財源確保に努めていただきたい。

当町は、平成18年3月に合併した新しい町であります。昨今の地方交付税の削減等により、新町建設計画の道路整備も財政的に非常に厳しい状況下であります。合併にあたっては、いろいろな支援制度もありましたが町の主要幹線道路等を整備する場合、補助率の高い支援制度等が必要である。また、公共交通機関の整備が低い地方では移動手段の殆どを車に頼っている状況であり、地域に住む人々が安全で安心できる道路の整備は急務である。そのため、現在の地方道路整備臨時交付金の拡大、補助率の嵩上げ及び採択要件の緩和を図って頂き、生活関連道の整備促進に努めていきたい。

(自動車依存率 青森県 97.6% 全国 74.1%)

また、少子高齢化が進む中で道路整備に疑問を投げかけている声もあると聞くが、果たして高齢者が増加することによって車社会が減少するのでしょうか？

高齢者の方々も安全・安心して利用できる道路づくりやそこに住む方々が移動手段として利用する車も安全・安心に通行できる道路づくりも必要不可欠であると考えています。

中期計画策定にあたっては、これまでの不祥事と支出の無駄を徹底的に是正し、かつ、全国一律的な交通需要推計や事業評価手法などではなく、地方には地方なりの優れた財産等もあることをご理解頂くとともに都市部・地方部とも生活に欠かせないものが道路であり、生涯安全・安心して暮らせる視点にそった道路整備の財源確保に努めていただきたい。

○現状

- 1) 当町は平成18年3月に合併し、おいらせ町として新しく誕生した町である。人口も県内で唯一増加している町がありますが、その反面道路整備が遅れており(町道舗装率51%)常に道路整備の要望があります。(特に人口増加の著しい北部地域)しかし、限られた財源での道路整備であるため十分な道路整備要望に応えれない状況下であります。
- 2) 県南地方(八戸市)と県都青森市を結ぶ東北縦貫自動車道八戸線が高規格道路として基本計画にはあるが、事業認可されていない。機能代替路線として百石道路、第二みちのく有料道路、みちのく有料道路がありますが、第二みちのくとみちのく有料道路の区間が未整備である。そのため、主要都市間の移動には未だ多くの時間を要している状況である。このため、地域間交流、物流の効率化など地域経済活動にも影響がある。
- 3) 冬期間の除雪により道路幅が狭小となることや通学路の歩道の確保が問題となっている。また、主要幹線である国道・県道においても歩道の未整備区間や狭小な区間があり、利用者の安全・安心な道づくりが必要である。

○課題

- 1) 要望路線の整備を計画的に進めるため、昨年度生活関連道路整備計画書を策定し、緊急性・重要性を優先に今年から道路整備に着手している。しかし、要望路線の概算事業費は100億円を超える金額であるため、道路整備に要する財源確保が課題となっている。
- 2) 当町の農産物としては、長芋・大根を中心とする野菜類やホッキ貝・鮭など魚貝類とする水産物があります。これら農水産物は鮮度が重要であるとともに短時間で供給することに価値がある。また、地域間交流を図るためにも、短時間で移動できる道路整備は必要であり、高規格幹線道路ネットワークの整備又は機能代替道路「青森・八戸みちのくライン」の整備が急務である。
- 3) 安全・安心して利用できる道路空間の確保が課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-② 地域の目指すべき将来像

様式③

青森県 おいらせ町

○ 町の将来像である「奥入瀬の清流にはぐくまれた田園定住都市」を実現するため、基本方針の一つである「利便性の高い快適に暮らすことができるまち」づくりを目指し、地域の生活環境の向上を図るため生活関連道整備計画書を策定し、計画的な道路整備に努めている。

道路整備は、地域産業の活力を支え、また、高度医療が必要な方たちへの移動時間の短縮が図られるなど町民への福祉の向上につながっていく。

また、歩行者が冬期間も含め安全・安心して利用できるためにも国道 45 号、県道八戸・野辺地線を始め、歩道の未整備区間、歩道の狭小箇所などの整備も急務であり、道路管理者に対し整備要望にも努めている。

併せて、八戸市と県都青森市を結ぶ「青森・八戸みちのくライン」の区間の内、現在工事が進められている「上北道路」の早期完成と以北の整備も早期に計画決定していただきたい。このことは、主要都市間の時間短縮はもちろんのこと交通渋滞箇所の緩和、救急医療体制の強化、物流の効率化や地域産業などの活性化が期待される。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

青森県 おいらせ町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	東北縦貫自動車道八戸線 機能代替路線「青森・八戸みちのくライン」	・高規格道路のネットワーク化による主要都市間の移動時間の短縮、物流の効率化、地域産業の活性化が期待される。 ・第3次救急医療施設などへの搬送時間が短縮されることにより医療体制の強化が期待される。 ・防災対策、危機管理の充実など	